

今回決定しない外国人向け地図記号について

1. 寺院（パブリックコメント時の案)

(1) 今回決定しない理由

外国人向けの地図用の寺院の地図記号として、外国人へのアンケート調査も踏まえ、日本を初めて訪問するなど日本になじみがなく、また日本の地図記号である卍記号を知らない外国人にもわかりやすいものとして、三重の塔のイメージの記号を提案しました。これに対して、パブリックコメントの意見として、「寺院の地図記号として卍記号を尊重すべき」、「卍記号の由来等を説明し、外国人に理解してもらわなければならない」、「従来記号の卍と外国人向け記号の三重の塔との2つの記号が存在すると混乱する」などを趣旨とする指摘が多数ありました。また、「寺院に必ずしも三重の塔があるわけではなく、また神社にも三重の塔がある場合があり、外国人が混乱する可能性がある」という指摘がありました。

外国人の案内に役立つ地図記号を決定するにあたっては、国内で広く普及・利用されることが肝要であり、外国人へのわかりやすさとともに、国民の十分な理解が必要です。しかし、今回提案した三重の塔を寺院の地図記号として採用すると、記号のイメージと現地の状況との不一致等により外国人に不必要な混乱を招く可能性があることに加え、国民の十分な理解が得られて広く普及・利用される地図記号とは言えないと判断しました。

以上のことから、三重の塔をイメージした記号は外国人向け地図における寺院の地図記号として決定しないこととします。

(2) 当面の対応

当面、寺院は「Temple」、「〇〇Temple」、「卍 (Temple)」、「卍 〇〇Temple」のような表示を推奨していくこととして、卍に対する外国人の理解を深めつつ、動向を見極めることとします。

2. モスク（パブリックコメント時の案)

(1) 今回決定しない理由

モスクの地図記号については、パブリックコメントにおいて、「モスクはまず日本の地図記号にしておかないと日本人が説明できない」や地図記号全般に関して「検討に当たって実施したアンケート調査でのムスリムの回答数が少ない」という意見がありました。また、その後の各国のモスクの地図記号の実態調査でも様々な記号が使用されていることが分かりました。以上を踏まえて、モスクの地図記号については今回決定しないこととします。

(2) 当面の対応

当面、モスクは「Mosque」、「〇〇 Mosque」のような表示を推奨していくこととします。

3. 観光案内所（パブリックコメント時の案)

(1) 今回決定しない理由

パブリックコメントにおいて『国際標準に合わせて「i」記号にすべき』との意見がありました。JISを所管する経済産業省との事前の調整を踏まえ、JISのピクトグラムに即した地図記号をパブリックコメント時の案としていましたが、パブリックコメント終了後、同省から「来年度JISの改正事業において、ISOと整合化を図ることを重視し、「i」記号に一本化する方向で検討される見込みである」との連絡があり、JIS改正の検討結果を待つこととします。

(2) 当面の対応

定められるまでの間は、これまで通りの「?」、「i」のいずれかの記号の表示で対応していただくこととします。